



菅井均 先生

献 辞

笹井均先生は、平成17年3月31日に退職されました。ここに私達の心からの感謝の気持ちと惜別の思いを込めて退職記念号を編集し、先生に捧げるものであります。

笹井先生は昭和14年6月広島にお生まれになりました。昭和44年3月に早稲田大学工学研究科博士課程を修了し、同年4月には名古屋大学工学部助手を経て、昭和47年6月より経営学部助教授として赴任され、昭和60年6月に経営学部教授、平成13年4月大学院国際社会科学研究所教授となり、平成17年3月に国立大学法人横浜国立大学副学長（総務担当）として定年によって退職されました。33年の長きにわたり本学で御活躍されました。

笹井先生は、管理科学ないし経営科学の教育、研究に努められ、また、制御理論やシステム理論、およびその経営学への適用に関して貢献して参られました。

笹井先生の研究業績は、顕著なものです。その研究業績は『最適決定の理論入門』を始めとする著書3冊、学術論文40本にまとめられています。とりわけ工学分野で発展の著しかった制御理論やシステム理論をマーケティング、ファイナンス、組織設計といった経営意思決定に適用し、合理的意思決定の指針を示すことに力を入れ、数々の成果を生み出してこられました。マーケティング関係では、多目的決定理論やエージェンシー理論に基づく数々の成果をあげられました。ファイナンス関係では、利子率の期間構造理論、オプション理論の電力融通取引への適用を試みられました。組織設計では組織構造の議論を行い、組織運営のための組織過程の分析を、数学的ツールをもちいて行っています。数理計画法関係では鞍点解の問題を、制御理論関係では最適制御を取り上げています。以上のように工学研究に単を発し、制御理論やシステム理論を基盤として経営学の主要領域における合理的意思決定の特徴づけとその有効性を示すことに注力されています。笹井先生の業績として特筆すべきことは、現在の経営学では珍しいことではありませんが、昔から若手研究者との共同論文が多いことがあげられます。また学問の先端的な業績を啓蒙的かつ巧みに表現することにも努めてこられました。

笹井先生は本学部の管理業務にも尽力され、平成5年より経営学部夜間学部主事、平成7年より経営学部長、平成13年より大学院国際社会科学研究所長、平成15年より副学長および附属図書館長、平成16年度より理事および副学長、経営協議会委員を歴任されています。とりわけ、国立大学独立法人化という激動の中で副学長として尽力されました。心から感謝いたします。また、通算12年にわたって評議員を勤められています。

きめこまかい指導を通じて、優秀な人材の育成にも努められました。本学の松井美樹教授をはじめ、多くの研究者を輩出されました。これは笹井先生の人徳と稀なるコミュニケーション能力によるものです。私も着任そうそうのころにはおつきあいさせていただきました。

笹井先生の長年にわたるご尽力とご貢献にこころからの感謝を申し上げるとともに益々のご健勝、ご活躍を祈念するものであります。

平成17年 9月

横浜国立大学経営学会長
山 倉 健 嗣